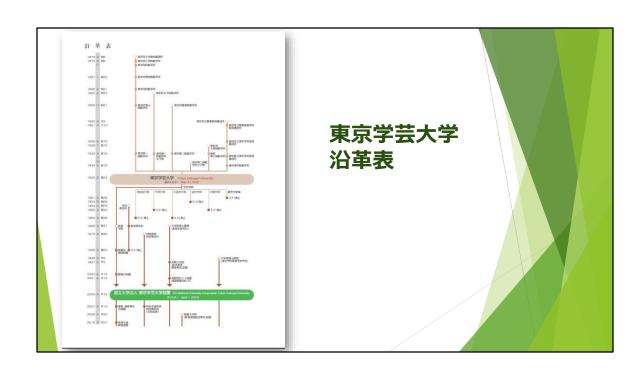


#### 東京学芸大学大学史資料室 Web展示

「東京学芸大学の歩み その前身と今」と題しまして、師範学校時代からの歴史や、戦後の小金井キャンパスの移り変わりについて、写真や画像とともにご紹介します。

こちらの写真は、1950年代の開学祭のために飾り付けられた東京学芸大学世田谷分校正門の様子です。

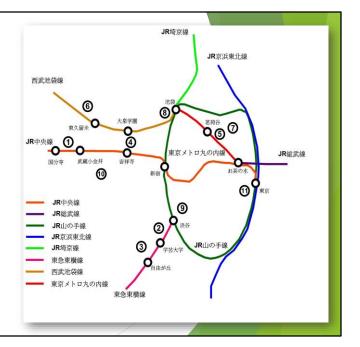
当時は創立記念日を中心とした時期に開学祭が催され、サークルや研究発表、子ども向けの演劇・演奏や各種展示が行われていました。



東京学芸大学の沿革表です。 現在に至るまでの大学の変遷の過程がわかります。

## 東京学芸大学分布図

- ①東京学芸大学(旧第二師範学校男子部・小金井分校) 附属小金井中学校、附属小金井小学校、附属幼稚園小
- ②附属高等学校(旧青山師範学校・旧第一師範学校男子部・世田谷分校)
- ③附属世田谷中学校、附属世田谷小学校
- ④附属国際中等教育学校(旧大泉師範学校・第三師範学校・大泉分校)
- | | 附属大泉小学校
- ▶⑤附属竹早中学校(旧東京府尋常師範学校・東京府師範学校・東京府女子師範学校・第一師範学校女子部・竹早分校)、附属竹早小学校、附属幼稚園竹早園舎
- ▶⑥附属特別支援学校
- ▶⑦旧第二師範学校女子部・追分分校・旧附属追分中学校・旧附属追分小学校
- ▶⑧旧豊島師範学校・旧附属豊島小学校
- ▶ ⑨旧青山師範学校(東京府師範学校)
- ▶⑩旧青年師範学校・調布分教場(青年学校教員養成所)
- ●⑪小学教則講習所・東京府仮師範学校・東京府小学師範学校・東京府師範学校・東京府尋常師範学校



東京学芸大学分布図です。

小金井キャンパスのみならず、附属学校や昔の師範学校の所在地が記してあります。 本学に関連する場所が東京中のあちこちにあるのがわかります。

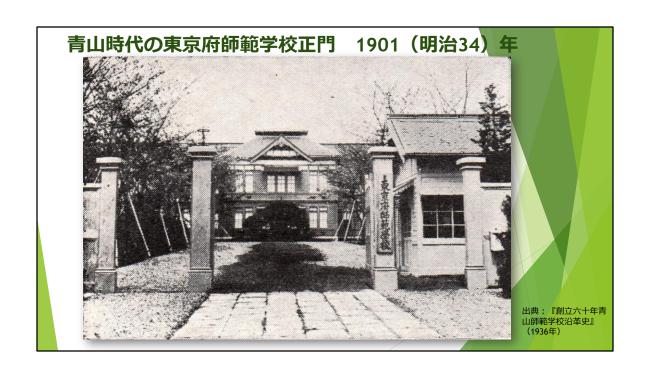


東京学芸大学の起源は、1873年に東京府が教員養成事業として東京府庁構内に開設した東京府小学教則講習所です。

当初は、現職教員のための教則講習を行う施設でしたが、その後東京府師範学校と改称し、小学校教員を育てる師範学校へと移行しました。



東京府女子師範学校は、当時小石川区竹早町にあった東京府師範学校が赤坂区青山北町に移転した後に、校舎等の学校施設や附属小学校などを受け継いで、1900年に創設されました。



青山北町に移転した東京府師範学校は、1907年の師範学校規程の制定に伴い、東京府青山師範学校と名称を変えました。



東京府豊島師範学校は、東京への人口集中と義務教育年限延長による就学児童の 急増に伴い、教員の確保が急務となったため、1909年に現・豊島区西池袋に新設され ました。



1920年、東京府青梅町に、東京府立農業教育養成所が開設され、翌年東京府立農業補習学校教員養成所に改称し、1935年に東京府立青年学校教員養成所へと発展しました。

1936年、青山師範学校は、青山北町から現在の東京学芸大学附属高等学校がある世田谷区下馬に移転しました。

また、1938年に、現・練馬区東大泉に東京府大泉師範学校が開校しました。

## 軍国主義と師範学校

東京府青山師範学校 軍事演習 1934(昭和9)年



出典:『東京府青山師範学校(本科第一部) 卒業記念写真帖』(1934年)

勤労奉仕に従事しました。

1925年、陸軍現役将校学校配属令が公布され、青山師範学校でも、上級生対象の軍事演習が行われるようになります。

また、朝礼、孔子祭、靖国神社参拝などの学校行事が開始されました。 1938年、文部省通達により、東京府の師範学校において勤労動員が開始されます。 1940年には、青山師範学校学徒隊が発足し、夏季休暇を利用して、陸軍兵器補給の

# 軍国主義と師範学校

女子師範学校における防空 演習

1937 (昭和12) 年

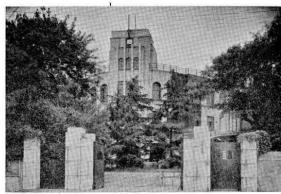


出典:『東京府女子師範学校 第36回卒業』(1938年)

1937年に行われた女子師範学校における防空演習の様子です。よく見ると生徒が、ガスマスクをつけていることがわかります。

## 師範学校の官立化

東京第一師範学校正門



東京第一師範学校正門

東京青年師範学校校舎



出典:いずれも『東京学芸大 学二十年史』 (1970年)

1943年、師範学校令改正により、師範学校は府県立から官立になりました。 それに伴い、東京府青山師範学校は官立東京第一師範学校男子部に、東京府女子 師範学校は官立東京第一師範学校女子部に、東京府豊島師範学校は官立東京第 二師範学校に、東京府大泉師範学校は官立東京第三師範学校にそれぞれ移行しまし た。

また、1944年には東京都立青年学校教員養成所が官立東京青年師範学校へと移行 しました。

## 東京学芸大学キャンパスの沿革

▶ 1949(昭和24)年 国立学校設置法により、東京学芸大学設置。

東京第一、第二、第三師範学校、および青年師範学校がこれに包括。

それぞれの学校の所在地、世田谷、竹早、小金井、追分、大 泉は分校化。青年師範学校は、調布分教場に。

- ▶ 1951(昭和26)年 調布分教場閉鎖
- ▶ 1953(昭和28)年 追分分校閉鎖
- <u>▶ 1955(昭和30)年</u> 竹早、大泉分校、小金井分校に統合。
- ▶ 1964(昭和39)年 世田谷分校、小金井に統合。

キャンパス一本化終了

終戦後、文部省は東京都内の師範学校の統合方針を明らかにし、1949年の国立学校設置法により、東京第一、第二、第三師範学校および青年師範学校を統合した「東京学芸大学」が設置されました。

それぞれの学校は、所在地の地名を冠して、世田谷、竹早、小金井、追分、大泉の各分校と調布分教場になります。

その後、分校·分教場は閉鎖や統合が行われ、1964年、小金井にキャンパスが一本化されました。



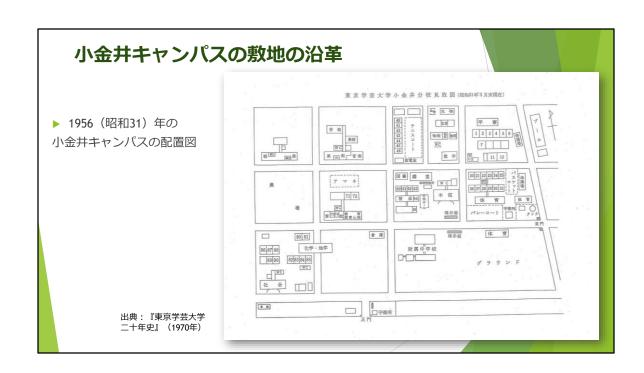
空襲により焼失した東京第二師範学校は、1946年、池袋から小金井に移転しました。 移転した小金井の敷地は、もともと陸軍技術研究所だった場所です。戦後は、大蔵省関 東財務局の管理となりました。

移転当初は、現・附属中学校体育館西端の道路から小金井市立本町小学校西側に いたる場所でした。

しかし1947年、東門近〈で出火があり、GHQの指示によって新小金井街道東側は没収されてしまいました。

ただし新小金井街道の東に位置するプールは没収を免れ、1964年まで使用されることとなりました。

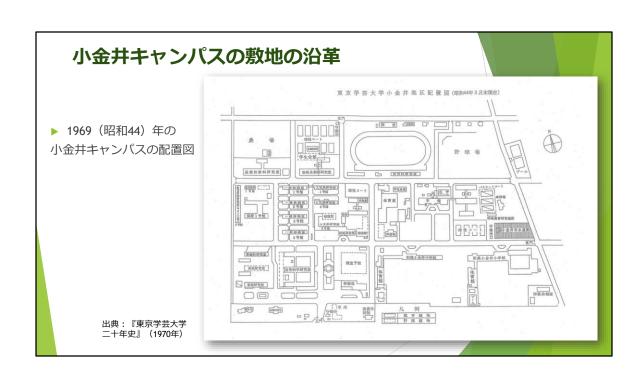
当時は、現在の敷地の東半分の規模で、西半分には、農家や工場が存在していました。



1950年代、大学は西に拡張します。西側の土地は、終戦直後から複数の農家や工場が存在していたため、土地の取得は困難を極め、反対運動も起きました。

しかし、大学による補償、移転先の提供、職員への採用などにより沈静化していきました。 当時のキャンパスは陸軍技術研究所の建物を利用し、本館は附属小金井中学校の北側にありました。

1956年の配置図では、敷地内にあった一部の工場の名称が残されています。



1960年代は学内施設の建て替えが大き〈進んだ時期です。

1954年の自然科学系研究棟着工、1958年のグラウンドの移転に続き、1960年には附属小・中学校や一般講義棟などの建設が始まりました。

その後、人文系·実技系と続き、1969年には本部棟が完成しました。同年の配置図から、 現在の建物の配置がこの時期にほぼ整えられたことがわかります。



陸軍技術研究所時代に上陸用舟艇実験場として建設されたプールは、戦後、大学の プールとして使用されました。

1958年には25mに仕切られ、脱衣所なども整備されました。

1964年に現在のプールが新設されましたが、旧プールはその後も使用されていました。写真後方には戦前のコンクリート製施設が一部残されているのが写っています。



陸軍技術研究所内に建設された給水塔は、戦後、大蔵省関東財務局の管轄となり、 1955年に小金井町営水道の水源として利用されることとなりました。

写真の本学東門近〈の給水塔は、1970年前後の水道事業が東京都へ移管された際に取り壊されたようですが、水源は現在も「貫井北第一号水源」として利用されています。



大学の代表的な施設の今昔を見てみましょう。



大学正門は、1950年代大学の敷地が西に拡張された折、現在の場所に作られました。



大学全体を管理する本部棟ですが、小金井地区への移転直後から、1960年代初頭まで附属小金井中学校の北側にあり、当時は本館という名称でした。 現在の本部棟は、1969年に完成しました。



左は、1960年に建設工事が始まった一般講義棟の遠景です。 現在の講義棟は、当時の一般講義棟を解体した跡地に建てられました。 第一期工事が1994年に、第二期工事が1996年に終了し、新しい講義棟が完成しました。



現在の自然科学系研究棟1号館は、1954年に着工されました。写真は、南半分が出来上がった状況です。

何度かの改修工事を繰り返しながら、現在もその当時の建物が使われています。



1949年、東京学芸大学の設置と同時に、附属図書館も開設されました。

小金井地区に旧図書館が新築されたのは1961年です。現在の時計台のある人文社会2号館がもともとは図書館でした。

1974年には、それまでの2倍以上の大きさの現在の図書館が新築されました。

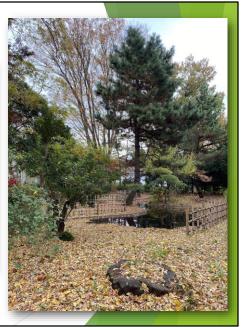


附属小金井小学校の敷地にあったグラウンドは、1958年に現在の場所に移りました。 現在では、総合グラウンドは、JリーグのFC東京の協力により人工芝に張り替えられ、また、 陸上トラックはアンツーカーになっています。

## 小金井キャンパス 各施設の変遷







万葉池は、誕生して約60年となります。

万葉・国文学者の東京学芸大学第五代大田善磨学長と田代良一技官がつくり上げた池です。

この池の周囲には万葉集で詠われた植物が植栽されました。



鷹野荘は、現・小金井クラブの前身にあたる宿泊・研修施設で、来賓接待や教職員懇親会などにも使用されていました。

陸軍技術研究所時代、中央大学附属中学校・高等学校近くにあった和光堂社長の別邸が陸軍に献納され、将校集会所として使用されていましたが、のちに大学に払い下げられたものです。

「鷹野荘」の名称は、教職員に募り、周辺地域が江戸時代に尾張徳川家の御鷹場であったことにちなんでつけられたとのことです。

なお、御鷹場とは、将軍や大名が鷹を放って狩猟をする場所のことです。

## 小金井キャンパス けやきの碑について



↑↑けやきの碑除幕式

出典:小金井市農業委員会編『みどり豊かな未来へ ふるさと・小金井・農業 付録/記録写真集』 (1989年)



これは、1982年、キャンパス内に陸軍技術研究所開設前まで敷地を所有していた農家により建てられた「けやきの碑」です。

かつて農家の屋敷林であったけやきの大木7本が、現在も江戸時代の道に沿って一列に並んでいます。

けやきは防風林や薪炭・建築材として重要な役割を果たし、落葉は堆肥として大切に利用されていました。



1984年の卒業アルバムから、当時の大学生の様子についてちょっと覗いてみましょう。



#### 学食の様子です。

学芸大生に「大生」と呼ばれる学食は、当時は喫煙可で、昼食時に禁煙タイムが設けられていました。



学園祭の様子です。 今も昔もアットホームで、子どもも楽しめる学園祭です。



武蔵野マラソンは、学生と教職員がいっしょに参加する学芸大の冬の風物詩でした。



最後に、東京学芸大学大学史資料室の活動について、ご紹介いたします。 大学史資料室では、東京学芸大学の歴史や教育・研究活動等に関する各種資料の 収集・整理・保存ならびに、展示・公開および調査・研究等の活動を行っております。 大学史資料室には、本学に関係する様々な資料が収集されています。 2019年から、師範学校に関する一部の資料の目録公開と、閲覧業務を開始しました。



大学史資料室では、2012年の設立以来、毎年様々なテーマに即した展示会を開催しています。

また、資料室の刊行物として、年に一回『大学史資料室報』を刊行しています。

『東京学芸大学大学史テキスト』は、学芸大学で学ぶ学生の皆さんに、本学の歴史について知ってもらうことを目的に、2018年に発刊しました。

大学史資料室ではこれからも本学に関する資料の収集、保存、閲覧・調査等を通じて、 みなさまの教育・研究活動に貢献していくことを目指しています。

### 本展示について

東京学芸大学大学史資料室では、毎年様々なテーマに即した展示会を開催しております。今年は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、通常の展示会は開催せず、Web上で展示を行うこととしました。

なお、本動画では解説ナレーションを博物館実務実習の一環として東京学芸大学の4人の学生が 分担して行っております。分担は以下の通りです。

○オープニング〜軍国主義と師範学校

市田光(E類教育支援専攻4年)

○東京学芸大学キャンパスの沿革〜戦前、戦時中の名残

松下暖乃(A類美術選修4年)

○小金井キャンパス各施設の変遷~小金井キャンパスけやきの碑について

光岡桃子(E類教育支援専攻4年)

〇学生生活~東京学芸大学大学史資料室紹介 中村佳菜子(E類教育支援専攻4年)

#### 画像出典一覧

- ▶ 「開学祭」:東京学芸大学庶務課『学報』第48号(1958年6月)
- ▶ 「山本松谷画 東京府師範学校」:復刻版『風俗画報』第271号(国書刊行会、1903年)〔初出1903年〕
- ▶ 「東京府女子師範学校校舎」:東京府女子師範学校『東京府女子師範学校卒業記念写真帖』(1924年)
- ▶ 「青山時代の東京府師範学校正門」:東京府青山師範学校『創立六十年青山師範学校沿革史』(1936年)
- ▶ 「東京府豊島師範学校初期の校舎」:撫子会『撫子八十年-東京府豊島師範学校八十周年・東京第二師範学校女子部開校四十五年記念』 (1988年)
- ▼東京府立農業補習学校教員養成所正門」、「東京府大泉師範学校創立当初の校舎」、「東京第一師範学校正門」、「東京青年師範学校校舎」、「東京第二師範学校男子部/金井校見取り図」、「1956(昭和31)年の小金井キャンパスの配置図」、「1969(昭和44)年の小金井キャンパスの配置図」:東京学芸大学創立二十周年記念会編『東京学芸大学二十年史一創基九十六年史一』(1970年)
- 東京府青山師範学校 軍事演習」:東京府青山師範学校『東京府青山師範学校(本科第一部)卒業記念写真帖』(1934年)
- ・ 「女子師範学校における防空演習」:東京府女子師範学校『東京府女子師範学校第36回卒業』(1938年)
- ▶ 「旧プールで開かれた東京地区国公立大会水泳競技会」:柴田義晴氏所蔵
- ▶ 「旧陸軍技術研究所の給水塔と中部地区の未墾地」、「けやきの碑除幕式」:小金井市農業委員会編『みどり豊かな未来へ ふるさと・小金井・農業 析録/記録写真集』 (1989年)
- ▶ 「大学正門1961(昭和36)年」、「大学本部棟1961(昭和36)年」:「昭和36年8月撮影 小金井地区新営建物全図」東京学芸大学<mark>大学史資料室所蔵</mark>
- ▶ 「自然科学系研究棟1960(昭和35)年」:「昭和35年7月撮影 小金井地区新営建物全図」東京学芸大学大学史資料室所蔵
- ▶ 「旧図書館1961(昭和36)年」、「一般講義棟1969(昭和44)年」、「グラウンド1969(昭和44)年」、「万葉池1960年代」、「鷹野荘1969(昭和44)年」:「創立20年誌写真資料」東京学芸大学大学史資料室所蔵
- ▶ 「学食」、「学園祭」、「武蔵野マラソン」:東京学芸大学生活協同組合卒業アルバム編集委員会編『'84年 東京学芸大学卒業アルバム』(1984年)
- ▶ 「小金井キャンパス 各施設の変遷」の現在の写真、大学史資料室紹介部分の写真はいずれも東京学芸大学大学史資料室所蔵